南海化学
NANKAI chemical



サステナブルな
明日を創る

おかげ様で創業120周年
120

南海化学
NANKAI chemical

2027/3期
中間決算説明資料

2026年11月
南海化学株式会社

東証スタンダード
（証券コード：4040）

南海化学 NANKAI chemical 目次

Ⅰ 2027/3期 中間決算概要

Ⅱ Appendix

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

南海化学
NANKAI chemical

2027/3期 中間決算概要

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

南海化学 NANKAI chemical 2027/3期 中間決算概要

会社課題
「採算改善」
「筋肉質化」
「成長戦略」
「人事戦略」

- **売上高は前期比で微増。**
- **会社課題である「採算改善」、並びに「筋肉質化（効率化）」に取り組み、**
  前期比で営業利益+73.3%、経常利益+74.4%

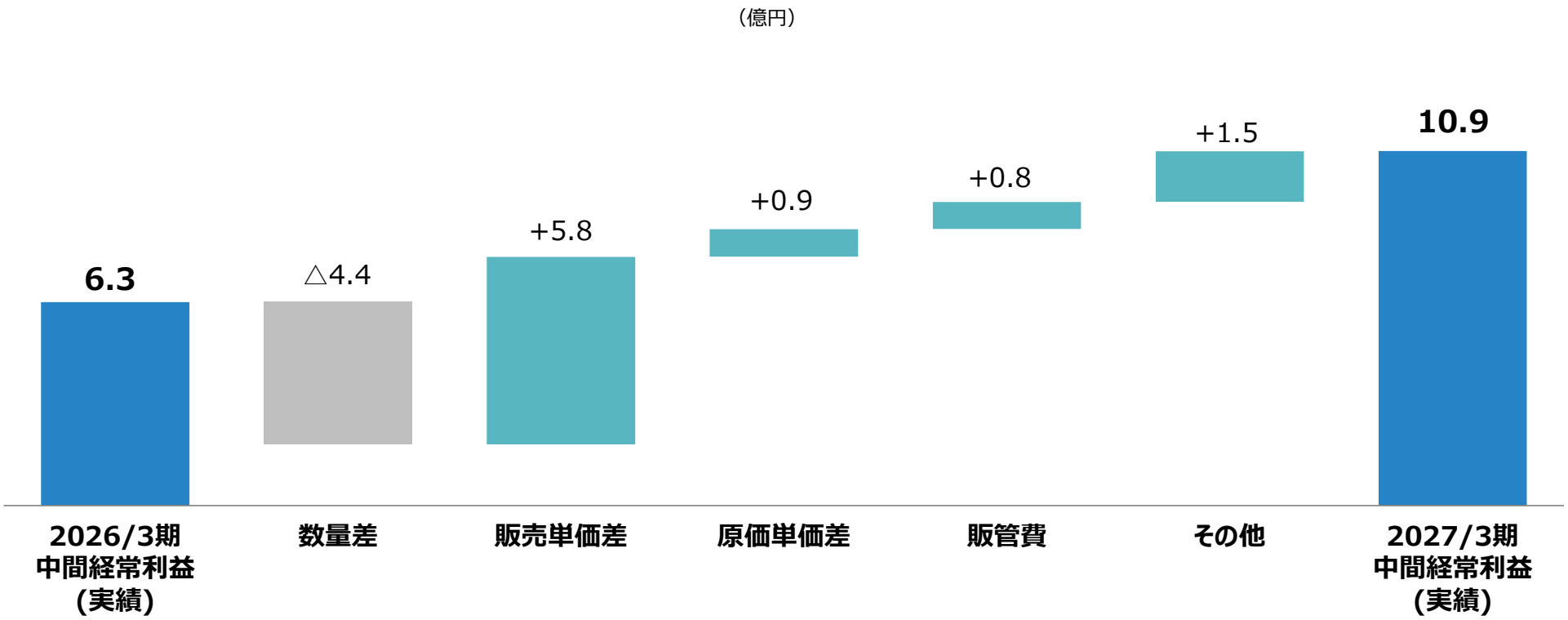
（百万円）	2026/3期 中間		**2027/3期 中間**		前年同期比較	
	実績	売上高比率	**実績**	売上高比率	差	変化率
売上高	9,176	100.0%	**9,315**	100.0%	139	1.5%
化学品事業	8,337	90.9%	8,455	90.8%	117	1.4%
各種塩事業	839	9.1%	860	9.2%	21	2.5%
営業利益	607	6.7%	**1,052**	11.3%	445	73.3%
化学品事業	1,201	14.5%	1,600	18.9%	399	33.2%
各種塩事業	△39	△4.7%	△75	△8.7%	△36	△91.5%
調整額(全社費用)	△554	–	△472	–	82	14.8%
経常利益	626	6.8%	**1,092**	11.7%	466	74.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	434	4.7%	**822**	8.8%	387	89.2%
経常利益率	6.8%	–	**11.7%**	–	4.9%	–

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai Chemical Co., Ltd.

経常利益　増減要因分析(対前年度比較)

選択と集中による一部取引の撤退により販売数量減。また不安定な世界情勢を受け原材料価格は高騰したが、電解稼働の最適化を追求する「筋肉質化」、並びに販売価格の適時適切な改定等の「採算改善」に取り組み、前期比+4.6億円の増益を実現。

経常利益　増減要因

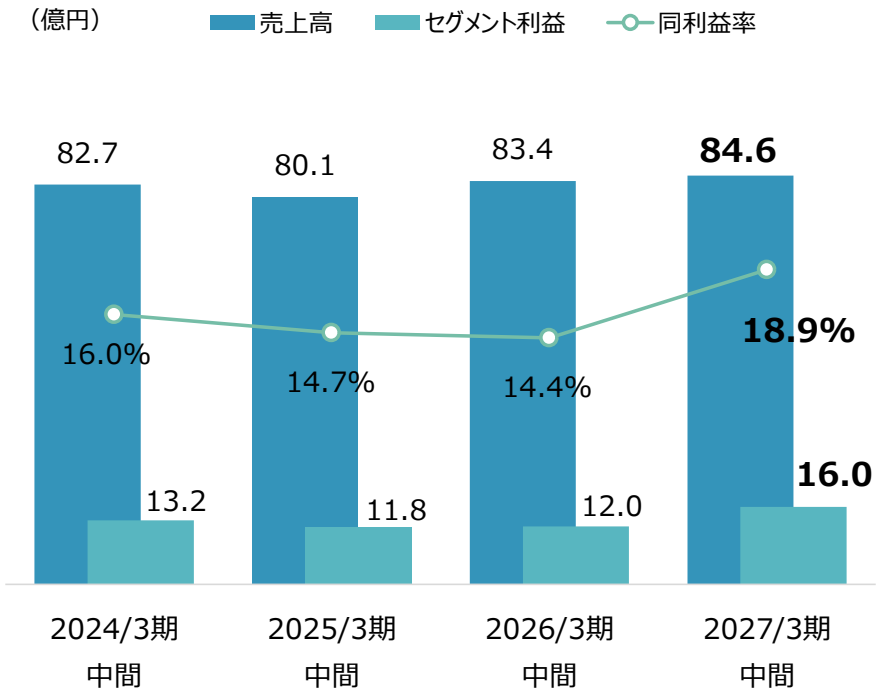


All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

セグメント別業績：化学品事業

- **基礎化学品における一部製品の販売減や、大型定修工事による環境リサイクルでの売上減はあったが、その他セグメントの増加により増収増益。**
- **アグリは好天、及び中東情勢による先取需要増により+1.6億円の売上増。**

業績推移



ポイント

[サブセグメント別売上高]

（億円）	2026/3期 中間	2027/3期 中間	増減額	増減率
基礎化学品	59.8	**59.4**	△0.4	△0.7%
機能化学品	7.5	**8.0**	0.5	6.6%
アグリ	7.3	**8.9**	1.6	21.9%
環境リサイクル	8.8	**8.3**	△0.5	△5.7%

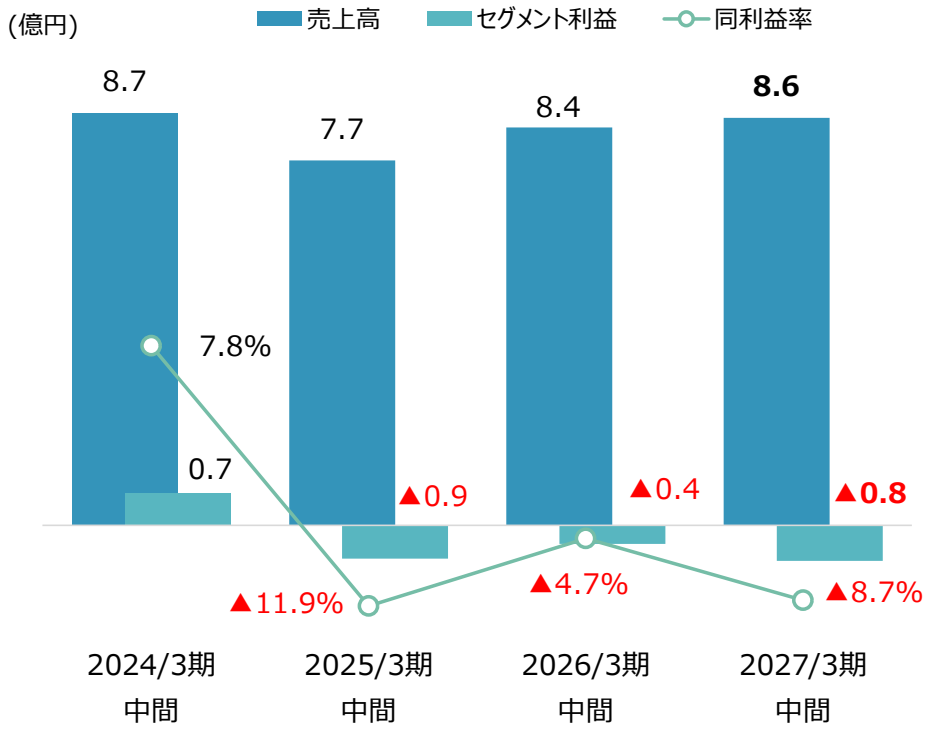
基礎化学品　ほぼ**横ばい**
機能化学品　適正価格の維持・一部是正に取り組み**微増**
アグリ　好天及び中東情勢を受けた先取需要により**増収**
環境リサイクル　大型定修工事の影響により**微減**

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai Chemical Co., Ltd.

セグメント別業績：各種塩事業

気候変動の影響により梅の収穫量が減少し、上期売上のうち大きなウエイトを占める梅干用塩の販売数量が減少。結果として、利益は前期比減。

業績推移



販売数量比較

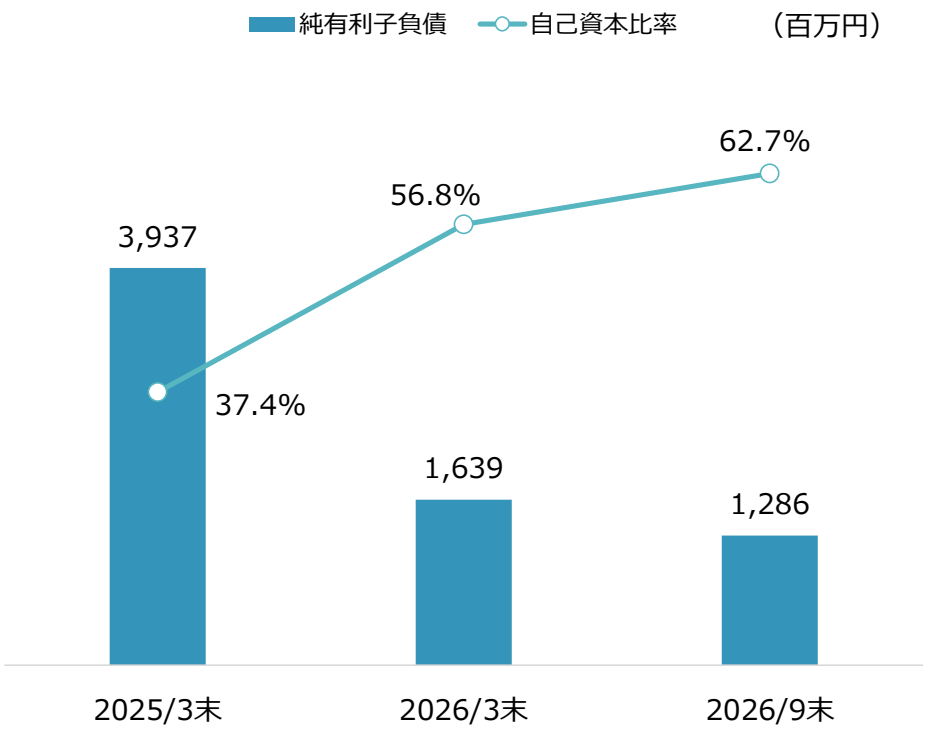
（単位：千トン）	2026/3期 中間	2027/3期 中間	増減数量	増減率
販売数量	23.0	**22.3**	▲0.7	▲3.0%

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai Chemical Co., Ltd.

南海化学 NANKAI chemical B/Sの状況

自己資本比率は前期末水準より更に改善。純有利子負債も減。

（百万円）	2025/3末	2026/3末	2026/9末	前期比増減
流動資産	9,505	9,812	**9,316**	△495
現預金	1,703	2,040	**1,891**	△149
売掛債権	3,988	4,664	**3,927**	△736
棚卸資産	3,142	2,691	**3,112**	421
固定資産	12,951	9,629	**9,685**	56
総資産	22,471	19,454	**19,014**	△440
負債	13,967	8,283	**6,977**	△1,305
買入債務	2,325	1,698	**1,353**	△344
有利子負債（借入金・社債）	5,230	3,323	**2,878**	△445
有利子負債（リース債務）	410	356	**299**	△57
純資産	8,503	11,171	**12,036**	864
負債及び純資産	20,258	19,454	**19,014**	△440



※純有利子負債：有利子負債－現預金

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai Chemical Co., Ltd.

南海化学 NANKAI chemical

最近の成果① 成長戦略：環境リサイクル事業

環境リサイクル事業の質的・量的拡大を中心とする「成長戦略」実現に向け 南海ビックバンプロジェクト を立ち上げ

◎2026/3期以降に取り組んだ具体的施策

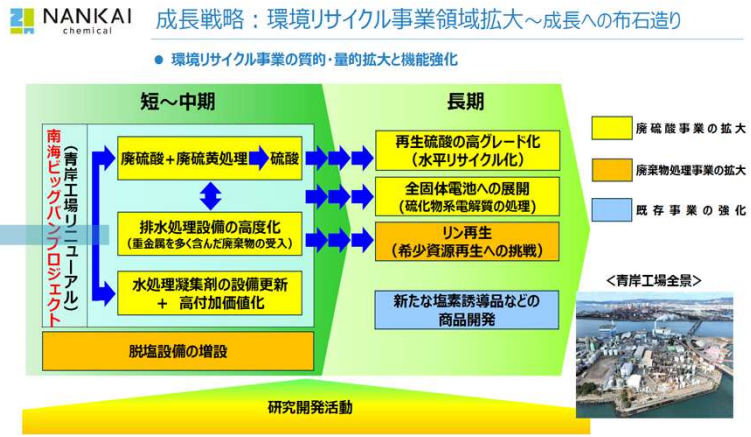
排水処理設備の高度化（青岸工場）に5億円投資を決定（2027年稼働開始予定）

実行

質的・量的拡大

- ◆ 処理費用が高い、鉛・カドミウム等の重金属を含む廃硫酸リサイクルニーズの取込みによる処理量15%増
- ◆ サンワ南海リサイクルの中和処理水の新たな取込み
- ◆ 廃アルカリの活用による中和処理コスト減
- ◆ 環境アセス中の※加熱炉の排水処理対応
  ※廃硫黄などの固形廃棄物の処理

＜昨年の説明会資料＞



＜青岸工場 排水処理設備の予定図＞



All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

南海化学
NANKAI chemical

最近の成果②　筋肉質化：土佐工場　生産効率の向上

・**「筋肉質化」の取組み～土佐工場にて高度晒粉一貫製造に向け大型打錠機を導入(2026年8月)**
原料投入工数の低減、中間在庫の削減、錠剤生産効率の向上を図り、将来的に自動包装迄の一貫化、競争力強化をはかる。クロピク錠剤も同様に一貫製造化を検討中。





(写真左：高度晒粉ロータリー式大型打錠機/写真右：打錠機用の空調設備)

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

創業120周年を迎えた取り組み

- **120周年記念ロゴマークを策定**

＜120 周年ロゴ＞



- **2026年10月26日に創業120周年を迎えるにあたり、全てのステークホルダーの皆様への感謝を伝えるとともに、未来に向けた当社の姿勢を示す「創業120周年記念ロゴマーク」を策定。**
  「120」の数字における「0」の部分を豊かな「地球」と見立てて、地球環境への配慮と循環、未来へ広がる持続可能な事業活動を象徴するデザインとしました。

- **120周年記念ムービーを作成**



- **120年の歩みと200年企業への決意を示した記念ムービーを作成。**
  当社がどんな”問い”に向き合い、どんな”解”を出してきたのか、企業価値向上に向けた当社の取組みをご紹介しております。

  当社HPにて公開しておりますので、ご覧下さい。
  https://www.nankai-chem.co.jp/

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

南海化学
NANKAI chemical

Appendix

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

南海化学 NANKAI chemical 2027/3期 業績計画の進捗率

会社課題
「採算改善」
「筋肉質化」
「成長戦略」
「人事戦略」

- **梅干用塩の販売減により各種塩事業の売上高の進捗率は芳しくないが、今後の融雪需要で巻き返しを図る。**
- **また、そもそも当社業績割合は下期の比率が高く、売上高・営業利益・経常利益の進捗率は50%以下ではあるが、対予算比で堅調に推移している。**

（百万円）	2025/3期	2026/3期	2027/3期 計画	2027/3期 2Q実績	進捗率 （平均：50.0%）
売上高	20,900	21,063	**21,700**	**9,315**	42.9%
化学品事業	16,347	16,979	**17,070**	**8,455**	49.5%
各種塩事業	4,553	4,083	**4,630**	**860**	18.6%
営業利益	1,306	1,700	**2,300**	**1,052**	45.7%
化学品事業	2,108	2,472	**3,400**	**1,600**	47.0%
各種塩事業	359	308	**360**	**△75**	–
調整額	△1,162	△1,081	**△1,460**	**△472**	–
経常利益	1,456	1,760	**2,340**	**1,092**	46.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,015	※ 2,776	**1,260**	**822**	65.2%
経常利益率	7.0%	8.4%	**10.8%**	**11.7%**	–
ROE	12.8%	※※ 28.6%	**12.5%**	–	–

※子会社土地売却益(1,665百万円)を含む　※※子会社土地売却益を除くROE:12.5%

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

株主還元（2026年5月14日の期初公表から変更なし）

- **2026/3期は60円（前期比5円増配）2027/3期は現時点で65円（前期比5円増配）を予定**
  今後も安定配当をベースとしつつ、配当額の増加および配当性向の向上を目指す
- **2026/3期は当社初となる自社株買いを実施（40,700株/150百万円）**
  また、2026/3末時点の株主様を対象に株主優待制度を導入し、株主還元を強化

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	**2027/3期見通し**
一株当たり配当額 （中間／期末）	50円 （15円／35円）	55円 （20円／35円）	60円 （25円／35円）	**65円 （30円／35円）**
一株当たり利益	586.71円	505.79円	1,375.57円 （703.88円※）	**624.14円**
配当性向	8.5%	10.9%	4.4% （8.5%※）	**10.4%** （15.2%※※※）
自社株買い	-	-	40,700株 取得価額:150百万円	**-**
株主優待 （100株以上保有※※）	-	-	-	**3,000円相当 （※※）**

※子会社土地売却益除くベース
※※1年以上3年未満継続保有が条件（導入初回時に限り、2026年3月末時点で100株以上保有、継続保有期間1年未満の株主様も対象
3年以上継続保有の場合、5,000円相当の当社事業所所在地特産品を贈呈
※※※上記株主優待(100株保有)を考慮した配当性向

All Rights Reserved. Copyright(C)南海化学株式会社 Nankai-Chemical Co., Ltd.

南海化学
NANKAI chemical

＜ 見通しに関する注意事項 ＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

経営企画部　企画・財務・IRグループ
Mail：ir4040@nankai-chem.co.jp